



しが旅のススメ



栗東市は琵琶湖には面していないものの、市の約半分を占める山や森林が自慢です。今回は、そんな自然豊かな市南部の山あいにある荒張の走井集落を紹介します。

走井の棚田は、農林水産省の「つなぐ棚田遺産」にも認定されており、四季折々のイベントを通じて、里山の自然と触れ合つことができます。6月上旬には田



走井集落を紹介するホームページ
はからちらから



■ 自然豊かな走井（栗東市）

四季に触れ 癒やされよう



色とりどりのアジサイが来訪者を出迎える「走井アジサイロード」=いずれも栗東市荒張で

植え体験やホタル観賞会が開催されました。田植え体験では、はだしで田んぼに入り、昔ながらの手植えを体験。2020年に始まり、毎年およそ100人が参加。親子連れの姿も多く見られ、大人も子どもも泥んこになりながら、田植えを楽しんでいます。

ホタル観賞会では、谷間に舞うホタルの光と満天の星が織りなす幻想的な風景を堪能できます。「ホタル博士」によるお話を聞きながら、冷たい飲み物を片手にホタル談議に花を咲かせる時間は、まさにぜいたくなひとときです。

現在、集落へと続く道沿いのアジサイは、走井を代表するフォトスポットの一つとなっています。

そのアジサイを抜けた先にある観光農園「はしりFarm（ファーム）」では、清らかな金勝山の水で育ったブルーベリーの摘み取り体験が楽しめます。摘み取ったその場で味わう新鮮な果実は格別です。

秋には、昔ながらの手作

いでは、色とりどりのアジサイが見頃を迎えています。地域住民とボランティアによって植えられたこのアジサイは、走井を代表するフォトスポットの一つとなる 것입니다。

「ハーベスタン走井」で味わえます。釜で炊き上げた新米のほか、地元野菜の販売や餅つき大会など、心温まる催しが盛りだくさんです。

走井には、豊かな自然と人々のぬくもりが解け合って、穏やかな時間が流れています。日常から少し離れて、心と体を癒やす旅へ。ぜひ一度、走井を訪れてみてはいかがでしょうか。（栗東市観光協会・北井友輔）

一年の実りに感謝する
ハーベスタン走井



これまでの「しが旅のススメ」はからちらから

【アクセス情報】名神高速道路栗東インターチェンジ（IC）から車で約15分、JR草津駅から車で約20分。

